

2024年度 神奈川工科大学 大学院 工学研究科 学生募集要項



博士後期課程

一般入試

 **神奈川工科大学**
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
URL <http://www.kait.jp/>

お問い合わせ先

＜企画入学課＞ TEL:046-291-3000
FAX:046-291-3001
E-mail nys@kait.jp

目次

目次	1 ページ
建学の理念、教育目的	2 ページ
工学研究科のディグリーポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー	3 ページ
各専攻のアドミッション・ポリシー	4 ページ
一般入試	
1. 募集専攻および募集人員	5 ページ
2. 出願資格	5 ページ
3. 入試日程	5～6 ページ
4. 選考方法	6 ページ
5. 試験内容	6 ページ
6. 試験場・集合時刻	6 ページ
7. 合格発表	6 ページ
8. 出願の流れ	7 ページ
9. 検定料	8 ページ
10. 出願方法	8 ページ
11. 提出書類	9 ページ
12. 納入金	10 ページ
13. 授業料の返還（入学金を除く）について	10 ページ
14. 教育課程表および研究内容	11～20 ページ

※個人情報について

出願にあたって提出していただいた個人情報は、入学試験の実施および統計的集計を行うために利用します。

【疾病・負傷や身体障がい等による受験上および修学上の事前相談について】

疾病・負傷や身体障がい等により、受験および修学に際して特別な配慮を必要とする方は、出願前に神奈川工科大学企画入学課にお問い合わせください。

神奈川工科大学企画入学課 TEL.046-291-3000 FAX.046-291-3001

建学の理念

本学は、広く勉学意欲旺盛な学生を集め、豊かな教養と幅広い視野を持ち、創造性に富んだ技術者を育てて科学技術立国に寄与するとともに、教育・研究を通じて地域社会との連携強化に努める。

教育目的

広い視野に立って精深な学識を授け、専攻分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門性が求められる職業を担うための高い能力と倫理観を有する人材の育成を目的とする。

工学研究科のディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー

【ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）】

以下の知識と能力を培い、かつ、専攻ごとに定められた修了要件を満たす学生に「博士」の学位を授与する。

- (1)自己の専門分野における高度な知識・技術、ならびに関連分野での知識・技術を体系的に修得し、多様な視点から多角的な議論や俯瞰的な技術評価ができる。
- (2)広い視野と高い俯瞰力によって普遍的意義のある課題の抽出や技術ニーズを開拓するとともに課題解決に向けた手法を発想、企画して研究を自立して実践できる。
- (3)優れた学術論文を執筆するとともに、国内の学会や国際会議において自立的に論文発表ができるとともに高度な研究討論を行うことができる。

【カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施方針）】

学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、下記の方針に従って教育課程を編成し、実施する。

- (1)コースワークやリサーチワークを通して研究開発職など高度に専門的な業務に従事するための基礎となる専門分野における高度な知識・技術、ならびに関連分野での知識・技術を体系的に修得し、広い視野と高い俯瞰力を培う。
- (2)リサーチワークを通して広い視野や俯瞰力によって普遍的意義のある課題の抽出や技術ニーズを開拓するとともに課題解決に向けた手法を発想し研究を主体的に企画して実践できる能力を培う。
- (3)学術論文の執筆や、学会での論文発表を行い、国内外においてコミュニケーションを行う能力を培う。

【アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）】

本研究科では以下のような入学者を求めています。

- (1)幅広い専門知識と高度な技術を有し基礎的な研究能力を備え、具体的な問題への応用力を有していること。
- (2)論理的思考力を備え、創造性に富み、探究心を有していること。
- (3)専門分野における国際コミュニケーション能力を有していること。

各専攻のアドミッション・ポリシー

●機械工学専攻

機械工学専攻では以下のような入学者を求めている。

- ①自然や社会に受け入れられる、さまざまな優れた機械製品の開発や、製造や保守、またそれらに関連した様々な問題の解決に貢献できる高度な機械技術者・研究者を養成するために必要な、基礎知識と能力を有し、これらの知識や能力を活用する思考力と、さらにそれを達成する意欲と熱意を有する人。
- ②グローバル化に対応できるコミュニケーション能力の基礎を有する人。
- ③論理的思考ができ、創造的な発明、問題の発見、問題解決に喜びを見いだせることができ、また技術を通して社会に貢献する意欲と熱意を有する人。

●電気電子工学専攻

電気電子工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①研究者に必要な電気電子工学分野の高度な知識やスキルを有して、またこれらの知識を十分に活用できる人。
- ②グローバル社会に対応でき、その素養をもつ人。
- ③論理的な思考力を備え、創造性に富み、探究心を有し、明確な入学の目的を持つ人。

●応用化学・バイオサイエンス専攻

応用化学・バイオサイエンス専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①応用化学、バイオサイエンス分野において、化学、生物、栄養の分野に関し必要とされる博士前期課程終了時において必要な基礎的知識、実験技術を有している人。
- ②専門分野における調査能力および課題発見能力を有しており、それら能力をさらに伸ばす事に熱意のある人。
- ③研究などを通じて、研究倫理については概要を身につけ、研究の概要を他者に論理的に説明でき、英語を用いてその概要を執筆できる人。

●機械システム工学専攻

機械システム工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①機械・電子・情報に関する幅広い専門知識と高度な技術を有し基礎的な研究能力を備え、具体的な問題への応用力を有している人。
- ②論理的思考力を備え、創造性に富み、探究心を有している人。
- ③機械・電子・情報に関する専門分野における国際コミュニケーション能力を有している人。

●情報工学専攻

情報工学専攻では以下のような入学者を求めています。

- ①情報・通信・メディア・生活支援に関する幅広い専門知識と高度な技術を有し基礎的な研究能力を備え、具体的な問題への応用力を有している人。
- ②論理的思考力を備え、創造性に富み、探究心を有している人。
- ③情報・通信・メディア・生活支援に関する専門分野における国際コミュニケーション能力を有している人。

一 般 入 試

1. 募集専攻および募集人員

専 攻	機械 工学専攻	電気電子 工学専攻	応用化学・ バイオサイエンス専攻	機械システム 工学専攻	情報 工学専攻
募集人員	2 名	2 名	2 名	2 名	2 名

2. 出願資格

次のいずれかに該当する者。

- ①修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2024 年 3 月までに取得見込みの者。
- ②外国において、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2024 年 3 月までに授与される見込みの者で 24 歳に達する者。
- ③文部科学大臣の指定した者。
- ④本学研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24 歳に達した者及び 2024 年 3 月までに 24 歳に達する者。
- ⑤本学研究科において、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。
(大学を卒業した後、大学又は研究所等において、2 年以上研究に従事した者で、本学大学院が当該研究の成果等により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者)

(注) 出願資格③、④、⑤により出願する方は、次の期間に本学企画入学課にお問い合わせください。

企画入学課：nyushi@kait.jp

A 日程入試：7 月 24 日 (月)～8 月 18 日 (金)、B 日程入試：1 月 9 日 (火)～1 月 22 日 (金)

ただし、8 月 10 日 (木)～8 月 15 日 (火)、11 月 6 日 (月)、12 月 28 日 (木)～1 月 5 日 (金)は休業のため受付いたしません。

3. 入試日程

◆A 日程入試

修士の学位、または外国において修士の学位に相当する学位を取得している者

出 願 期 間	2023 年 8 月 21 日 (月)～8 月 28 日 (月)〈消印有効〉 持参：2023 年 8 月 29 日 (火) 17 時 00 分まで
試 験 日	2023 年 9 月 5 日 (火)
合 格 発 表 日	2023 年 9 月 9 日 (土) ※受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2023 年 9 月 21 日 (木)〈消印有効〉 持参：2023 年 9 月 22 日 (金) 17 時 00 分まで
延 納 者 手 続 締 切 日	2023 年 12 月 14 日 (木)〈消印有効〉 持参：2023 年 12 月 15 日 (金) 17 時 00 分まで

2024 年 3 月までに修士の学位、または外国において修士の学位に相当する学位を取得見込みの者

出 願 期 間	2023 年 8 月 21 日 (月)～8 月 28 日 (月)〈消印有効〉 持参：2023 年 8 月 29 日 (火) 17 時 00 分まで
第 1 次 試 験 日	2023 年 9 月 5 日 (火)
第 1 次試験合格発表日	2023 年 9 月 9 日 (土) ※受験者全員に結果を通知します
第 2 次 試 験 日	2024 年 2 月 20 日 (火)
合 格 発 表 日	2024 年 3 月 2 日 (土) ※受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2024 年 3 月 14 日 (水)〈消印有効〉 持参：2024 年 3 月 15 日 (金) 17 時 00 分まで

◆B日程入試

修士の学位、または外国において修士の学位に相当する学位を取得している者および2024年3月までに修士の学位、または外国において修士の学位に相当する学位を取得見込みの者

出 願 期 間	2024年2月5日（月）～2月12日（月）〈消印有効〉 持参：2024年2月13日（火）17時00分まで
試 験 日	2024年2月20日（火）
合 格 発 表 日	2024年3月2日（土） ※受験者全員に結果を通知します
入 学 手 続 締 切 日	2024年3月14日（木）〈消印有効〉 持参：2024年3月15日（金）17時00分まで

4. 選考方法

英語筆記試験※1、面接〔修士論文の試問(※2)および専門に関する口頭試問（筆記試験を行う場合もあります）〕および書類審査によって選考します。

- ※1 応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻は英語筆記試験を TOEIC のスコアに代えて評価します。従って、応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻の受験を希望する者は出願時に他の書類と一緒に TOEIC のスコアを提出してください。
- ※2 2024 年 3 月までに修士(博士前期)の学位または専門職学位を取得見込みの者については、修士(博士前期)課程または専門職課程で現在行っている研究等の試問とする。

5. 試験内容

専 攻	試 験 内 容	
機 械 工 学 専 攻	英語筆記試験（60 分間）	修士論文の試問および専門に関する口頭試問（筆記試験）を行う場合もある。
電 気 電 子 工 学 専 攻		
応用化学・バイオサイエンス専攻	TOEIC のスコア	
機 械 シ ス テ ム 工 学 専 攻	英語筆記試験（60 分間）	
情 報 工 学 専 攻	TOEIC のスコア	

注意 1. 外国人受験者の場合は、日本語の口頭試問を別途に課すことがある。

注意 2. 2024 年 3 月までに修士(博士前期)の学位を取得見込みの者は、2023 年 9 月 5 日(火)の試験を第 1 次試験とし、第 1 次試験合格者には 2024 年 2 月 20 日(火)に第 2 次(最終)試験を行うものとする。

注意 3. 応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻は英語（筆記）試験を TOEIC のスコアで評価します。

6. 試験場・集合時刻

試験場：神奈川工科大学（神奈川県厚木市下荻野1030）

集合時刻：受験票に記載します。

試験室：受験票と一緒に送付する案内用紙にて連絡します。

※試験日2日前になっても受験票が届かない場合は神奈川工科大学企画入学課までご連絡ください。TEL. 046-291-3000

7. 合格発表

- ◆A日程入試：9月9日(土)に受験者全員に選考結果を郵送で通知します。
◆B日程入試：3月2日(土)に受験者全員に選考結果を郵送で通知します。

なお、A日程入試受験者で、2024年3月までに修士(博士前期課程)の学位取得見込みの者は9月9日(土)の合格発表日には第1次試験の可否結果を通知します。第1次試験合格者のみ第2次試験を受験することができます。

8. 出願の流れ

希望する指導教員との面談および提出書類の準備

- ① 本学大学院以外からの志願者は出願前に希望する指導教員と面談を行っていただきますので、必ず指定の期間に企画入学課までご連絡ください。(詳細はp.9 参照)
- ② 出願に必要な書類「修了(見込)証明書」、「調査書(成績証明書)」、「TOEIC スコア」(応用化学・バイオサイエンス専攻および情報工学専攻志願者のみ)を取り寄せておいてください。



志願票の記入

本学ホームページから志願票をダウンロードし、出願する専攻等必要事項を記入してください。
本学ホームページ URL <https://www.kait.jp/>



検定料の支払い

企画入学課窓口での支払い、銀行窓口での支払いのいずれかの方法により、検定料をお支払いください。



提出書類送付

指定の提出書類を揃え各自で封筒を用意し、指定期日までに郵便局から簡易書留速達で郵送するか、もしくは、本学企画入学課まで持参してください。
※本学へ持参する場合の受付時間は、平日(月曜日～金曜日)9時00分～17時00分となります。



出願完了

提出書類を確認後、受験票を発送いたします。

注 意

- (1) 出願書類に不備がある場合は、受験票を発行できません。提出の際に再度確認をしてください。
- (2) 試験日2日前になっても受験票が届かない場合は、必ず本学企画入学課へ問い合わせてください。
- (3) 一旦提出した書類は、いかなる場合も返還しません。

9. 検定料（振込手数料は出願者負担です）

○検定料：30,000円

検定料の支払方法（検定料は①本学企画入学課窓口支払いと②銀行窓口支払いがあります）

①本学企画入学課窓口で支払う場合

本学企画入学課窓口へ検定料を持参してお支払いください。

※受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分

②銀行の窓口で支払う場合（銀行窓口備え付けの振込用紙をご利用ください）

次の口座にお振込みください。

振込先銀行		預金種目
みずほ銀行 厚木支店		普通預金
口座番号	受取人口座名	金額
1301975	カナガワコウカダイガク	30,000円
カタカナで名前を記入→	ご依頼人（出願者氏名）	
	※※※ ※※※	

○検定料の返還について

一旦納入された検定料は原則として返還いたしません。下記の(1)～(3)の事由に該当する場合には、申請により検定料の返還を認める場合があります。なお、検定料送金に係った手数料は返還できません。また、返還に要する送金手数料はご負担いただきます。

- (1) 検定料を納入したが、出願しなかった場合。（出願書類提出後の取消しは認めません）
- (2) 入学検定料を誤って納入した場合。（検定料の二重払い等）
- (3) 出願が受理されなかった場合。（出願期間後に出願、書類の不備、出願資格無し等）

10. 出願方法

- 本学ホームページから志願票をダウンロードし必要事項を記入後、企画入学課まで郵送（簡易書留・速達）または持参してください。提出期限が過ぎた場合は受付いたしません。なお、受験票は提出書類確認後に送付します。

【書類提出締切日】

A日程入試：2023年8月28日（月）〈消印有効〉

※窓口へ持参する場合は、2023年8月29日（火）17時00分まで

B日程入試：2024年2月12日（月）〈消印有効〉

※窓口へ持参する場合は、2024年2月13日（火）17時00分まで

＜郵送の場合＞

出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、必ず「簡易書留・速達郵便」にて郵送してください。なお、封筒（表面）の左下に「大学院入試出願提出書類在中」と明記してください。

（送付先）〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030 神奈川工科大学 企画入学課

＜持参の場合＞

出願書類を揃えて封筒（各自用意）に入れ、本学企画入学課窓口まで持参してください。

※受付時間は、平日（月曜日～金曜日）9時00分～17時00分

11. 提出書類 [※の提出書類は本学所定の用紙。本学のホームページからダウンロードして下さい。]

提出書類	内 容																
①志願票※	出願専攻等、必要事項を記入して提出してください。																
②写真	「写真」1枚を志願票に貼付して提出してください。 (縦4 cm×横3 cm/上半身/脱帽/正面向き/3ヶ月以内に撮影したもの)																
③大学院修士課程または大学院前期課程の修了(見込)証明書	出身大学院により作成されたもの。 (出願資格⑤(p.5参照)により出願する者は、出身大学の卒業証明書)																
④調査書(成績証明書)	出身大学院により作成された大学院の調査書(成績証明書)。 (2. 出願資格⑤(p.5参照)により出願する者は出身大学により作成された調査書(成績証明書)のみ提出してください)																
⑤検定料振込受領書(コピー可)	検定料を銀行窓口で支払った場合は、振込受領書(コピー可)を提出。 検定料(30,000円)の支払方法 検定料は、本学企画入学課、銀行窓口のいずれかでお支払いください。 ①本学企画入学課で支払う場合 本学企画入学課窓口へ検定料を持参してお支払いください。 受付時間は、平日(月曜日～金曜日) 9時00分～17時00分 ②銀行窓口で支払う場合(振込用紙は銀行備付の用紙を使用してください) 次の口座にお振込ください。なお、振込手数料は出願者負担です。 <table><tr><th colspan="2">振込先銀行</th><th>預金種目</th></tr><tr><td colspan="2">みずほ銀行 厚木支店</td><td>普通預金</td></tr><tr><th>口座番号</th><th>受取人口座名</th><th>金額</th></tr><tr><td>1301975</td><td>カナガワコウカダイガク</td><td>30,000円</td></tr><tr><td rowspan="2">カタカナで名前を記入→</td><th>ご依頼人(出願者氏名)</th><td rowspan="2"></td></tr><tr><td>※※※ ※※※</td></tr></table>	振込先銀行		預金種目	みずほ銀行 厚木支店		普通預金	口座番号	受取人口座名	金額	1301975	カナガワコウカダイガク	30,000円	カタカナで名前を記入→	ご依頼人(出願者氏名)		※※※ ※※※
振込先銀行		預金種目															
みずほ銀行 厚木支店		普通預金															
口座番号	受取人口座名	金額															
1301975	カナガワコウカダイガク	30,000円															
カタカナで名前を記入→	ご依頼人(出願者氏名)																
	※※※ ※※※																
⑥修士論文とその概要	修士論文またはそれに代わる論文(1部)とその概要(和文の場合は約1000文字、英文の場合は約250words)としてください。また、修士学位取得見込み者は概要のみ提出してください。修士論文は第2次試験時に提出していただきます。																
⑦その他	<他大学院出身の志願者および他大学院に在籍中の志願者> ○他大学院からの志願者は必ず次の期間にご希望の指導教員を企画入学課までお知らせください。その後、希望する指導教員と面談いただきます。(nyushi@kait.jp) A日程入試: 7月24日(月)～8月18日(金) B日程入試: 1月9日(火)～1月22日(金) ○現在、大学院に在籍している方は当該研究科長の、受験承諾書を提出してください。(様式随意) <外国人志願者> ○外国人留学生の方は必ず次の期間中にご希望の指導教員を企画入学課までお知らせください。その後、希望する指導教員と面談いただきます。(nyushi@kait.jp) A日程入試: 7月24日(月)～8月18日(金) B日程入試: 1月9日(火)～1月22日(金) ○経費支弁にかかわる書類(詳細については、経費支弁書※の“出願・提出書類作成上の注意”を確認してください)を提出してください。 ○志願票の学歴欄には、小学校入学から記入してください。 ○出願時に『住民票』か『在留カード』の写しを提出してください。なお、住民票には在留資格、在留期間、在留期間満了日の記載を含み、出願時の3ヶ月以内に発行されたものとし、在留カードの写しは必ず裏面の写し(記載がない場合でも)も提出してください。																

【健康診断書について】

健康診断書の提出は必要ありません。ただし、入学後に実施する本学の健康診断を必ず受けてください。

12. 納入金

(単位：円)

			一括納入	分割納入		
			(1 年分)	(前期分)	(後期分)	合 計
			入学手続時	入学手続時	2023 年 10 月末	
学費	入学金※ ¹		200, 000	200, 000	—	200, 000
	授業料		1, 000, 000	500, 000	500, 000	1, 000, 000
大学委託 徴収金	後 援 会 費	入会金※ ¹	3, 000	3, 000	—	3, 000
		年会費	15, 000	15, 000	—	15, 000
	同窓会入会金※ ²		20, 000	20, 000	—	20, 000
合 計 (初年度納入金額)			1, 238, 000	738, 000	500, 000	1, 238, 000

※1. 本学大学院生が博士前期課程修了と同じ年に本学大学院博士後期課程に進学する場合、入学金 200,000 円と後援会入会金 3,000 円が免除されます。

※2. 本学大学院博士前期課程修了者で、既に同窓会入会金を支払い済みの者は再度お支払いいただく必要はありません。

注1) 大学院の2年次と3年次に支払う金額はそれぞれ授業料 1,000,000 円(年額)と後援会費 15,000 円(年会費)の合計金額です。

注2) 神奈川工科大学では、学債や寄付金をお願いすることはありません。

13. 授業料の返還(入学金を除く)について

入学手続完了後に入学を辞退する場合は、授業料の返還手続きをすることにより、入学金を除いた納入金を返還いたします。授業料返還手続きについての詳細は合格者に送付する「入学手続きの手引き」で確認してください。

14. 教育課程表および研究内容

(記載の内容は 2023 年度の教育課程表および研究内容です)

(1) 共通科目

●教育課程表

○選択

授業 コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29700	高等教育学識教授法	○		1	1	伊藤 勝久
合 計					1	

共通科目は修了要件に含めない

(2) 機械工学専攻

●教育課程表

◎必修、○選択

授業 コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29100	環境エネルギー特論Ⅰ	○	2		2	木村 茂雄 林 直樹
29101	環境エネルギー特論Ⅱ	○		2	2	
29102	知能デザイン特論Ⅰ	○	2		2	川島 豪 小机わかえ 兵頭 和人 有川 敬輔 渡部 武夫 照井 冬人
29103	知能デザイン特論Ⅱ	○		2	2	
29104	特別研究	◎	4		4	
合 計					12	

注) 特別研究の単位修得条件として、APRIN eラーニング (eAPRIN) (<https://edu.aprin.or.jp>) を受講し修了していること。受講コース等の詳細は専攻に確認すること。

●研究内容

担当教員	学科目	研究内容	研究テーマ
教授・工学博士 川島 豪 教授・博士（工学） 有川 敬輔 教授・博士（工学） 渡部 武夫 教授・工学博士 照井 冬人 教授・博士（人間科学）、 ・博士（工学） 佐藤 智明	機械力学・ 制御工学	・運動の解析と制御に関する研究 ・流体の計測と制御に関する研究 ・分布定数系の制御に関する研究 ・ロボット機構の設計と制御に関する研究 ・宇宙機の制御に関する研究	・流体関連振動の解析と制御 ・衝撃制御システムの開発 ・大型宇宙構造物の伸展・展開・回収と振動制御 ・非従来型位相構造を有するロボットマニピュレータの設計と制御 ・コンプライアントメカニズムの設計と制御 ・新しい熱機関システムに関する検討 ・教育利用のための機械システム開発とその評価
教授・工学博士 木村 茂雄	流体工学	・物体回りの流れと熱に関する研究 ・大気着氷現象に関する研究	・大気着氷現象に関する研究 ・着氷防止に関する研究 ・風力発電に関する研究 ・マルチコプタ・ロータブレードの最適設計に関する研究

(3) 電気電子工学専攻

●教育課程表

◎必修、○選択

授業コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29200	電力工学特論Ⅰ	○	2		2	板子 一隆 瑞慶覧章朝 高橋 宏
29201	電力工学特論Ⅱ	○		2	2	
29202	電子物性工学特論Ⅰ	○	2		2	檜原 浩一 黄 啓新 工藤 嗣友
29203	電子物性工学特論Ⅱ	○		2	2	
29204	情報通信工学特論Ⅰ	○	2		2	小室 貴紀 武尾 英哉 中津原克己 高取 祐介
29205	情報通信工学特論Ⅱ	○		2	2	
29206	家電工学特論Ⅰ	○	2		2	奥村万規子 黄 啓新 金井 徳兼 広井 賀子 安部 恵一 三栖 貴行 山崎 洋一 杉村 博
29207	家電工学特論Ⅱ	○		2	2	
29208	特別研究	◎	4		4	
合 計					20	

注）特別研究の単位修得条件として、APRIN eラーニング（eAPRIN）（<https://edu.aprin.or.jp>）を受講し修了していること。受講コース等の詳細は専攻に確認すること。

●研究内容

担当教員	学科目	研究内容	研究テーマ
教授・博士（工学） 板子 一隆 教授・博士（工学） 瑞慶覧章朝	電力工学	エネルギー変換、電力の高品質化、電磁環境評価改善技術、静電気現象並びにプラズマ応用に関する研究	・パワーエレクトロニクスとノイズ問題 ・高分子－水間の静電現象 ・超純水の噴出および衝突時に発生する帯電微粒子 ・大気環境及び排ガス浄化技術
教授・博士（工学） 梶原 浩一 教授・博士（工学） 黄 啓新 教授・博士（情報工学） 工藤 嗣友	電子物性工学	デバイス材料、半導体デバイスやデバイスプロセスに関する研究	・進行波型デバイス ・デバイスプロセス技術 ・新素材と高機能センサー
教授・博士（工学） 小室 貴紀 教授・博士（工学） 武尾 英哉 教授・博士（工学） 中津原克己	情報通信工学	ネットワーク遠隔制御、電波及び光波利用通信技術の高度化に向けた素子、回路、方式およびその評価方法の総合的研究 画像処理アルゴリズム、画像診断支援システムの研究	・通信用超高速回路 ・光制御型複合回路 ・光信号処理回路 ・光伝送交換システム ・移動端末用マイクロ波回路 ・高周波アナログ回路解析 ・超高速回路の評価技術 ・センサインターフェース回路 ・医用画像工学、シネマ・フォト分野向け画像処理
教授・博士（工学） 奥村万規子 教授・博士（工学） 黄 啓新 教授・博士（工学） 金井 徳兼 教授・博士（医学） 広井 賀子 教授・博士（情報学） 安部 恵一 教授・博士（工学） 三栖 貴行	家電工学	HEMS、スマートグリッド、ネットワーク技術とロボット制御技術、レーザ表示技術を利用した、家庭内機器およびサービスとの融合技術についての研究	・家電工学、環境計測およびロボット制御 ・ホームロボットシステム開発 ・光環境情報計測 ・スマートグリッド技術 ・レーザ利用による新表示技術 ・HEMS技術 ・照明工学 ・災害支援システム技術

(4) 応用化学・バイオサイエンス専攻

●教育課程表

◎必修

授業 コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29300	応用化学・バイオサイエンス特論Ⅰ	◎	2		2	飯田 泰広 市村 重俊 井上 英樹 岩本 嗣 大庭 武泰 清瀬千佳子 栗原 誠 小池あゆみ 齋藤 貴 三枝 康男 澤井 明香 澤井 淳 茂野 交市 清水 秀信 高村 岳樹 仲亀 誠司 野田 毅 花井 美保 宮本 理人 村田 隆浩 森川 浩一 山口 淳 山村 晃 横山知永子
29301	応用化学・バイオサイエンス特論Ⅱ	◎		2	2	飯田 泰広 井上 英樹 清瀬千佳子 栗原 誠 小池あゆみ 齋藤 貴 三枝 康男 澤井 淳 茂野 交市 清水 秀信 高村 岳樹 仲亀 誠司 野田 毅 花井 美保 宮本 理人 村田 隆浩 森川 浩一 山口 淳 山村 晃 横山知永子
29304	特別研究	◎	4		4	飯田 泰広 井上 英樹 清瀬千佳子 栗原 誠 小池あゆみ 齋藤 貴 三枝 康男 澤井 淳 茂野 交市 清水 秀信 高村 岳樹 仲亀 誠司 花井 美保 村田 隆浩 森川 浩一 山口 淳 横山知永子
合 計					8	

注) 特別研究の単位修得条件として、APRIN eラーニング (eAPRIN) (<https://edu.aprin.or.jp>) を受講し修了していること。受講コース等の詳細は専攻に確認すること。

●研究内容

担当教員	研究内容	研究指導内容
教授・博士（工学） 三枝 康男 教授・博士（工学） 茂野 交市 教授・博士（工学） 清水 秀信 教授・博士（工学） 山口 淳一 教授・博士（薬学） 森川 浩	・高性能・高機能性高分子材料の分子設計、合成、キャラクターゼーション ・機能性セラミックス材料・プロセスの開発 ・生分解性高分子の応用 ・機能性を有した新規有機化合物の合成と合成法の開発 ・天然由来有機化合物を用いた化学反応と機能化	・ポリイミドの機能化 ・アルミナ等に代表されるセラミックスの低温焼結化と新規機能デバイスへの応用 ・ポリ乳酸複合体の作製と機能評価 ・刺激応答性を持つ機能性高分子ゲルの合成とキャラクターゼーション ・ヒダントインに代表される新規含窒素有機化合物合成・アズレンを含む新規芳香族化合物の合成 ・テルペン類を原料とした高分子の合成 ・天然抗酸化物質の化学修飾と機能化
教授・工学博士 齋藤 貴 教授・博士（理学） 高村 岳樹 教授・ph.D 仲亀 誠司	・分子認識機能性材料の合成と計測技術及び浄化への応用 ・環境、食品中の遺伝毒性物質の生体影響 ・複合微生物系バイオプロセスの微生物学的解析 ・カーボンニュートラル社会の実現に向けたバイオプロセスの構築	・分子認識材料による分光学的分析 ・遺伝毒性物質によるDNA損傷に対する細胞応答、DNA損傷をバイオマーカーとして用いた環境評価 ・有機性廃棄物の生物学的資源化技術の開発とLCA手法による技術評価 ・複合微生物系バイオプロセスの微生物学的解析 ・バイオプロセスを用いたバイオマス資源からの化成品原料の生産
教授・博士（工学） 飯田 泰広 教授・博士（理学） 井上 英樹 教授・博士（農学） 栗原 誠 教授・博士（理学） 小池あゆみ 教授・理学博士 村田 隆	・生理活性物質の探索とその応用 ・低分子ペプチドおよび低分子化合物の生理機能解析 ・粘膜防御物質の探索と機能性評価 ・タンパク質の構造と機能の解析 ・植物細胞の構造と機能の解析	・生理活性評価系の構築と機能発現制御物質の探索およびその作用機構の解明 ・健康状態の改善に寄与する低分子生理活性物質の作用機序解明 ・モノクローナル抗体を用いた粘膜防御物質の構造解析と病態生理学的変動評価 ・分子シャペロンの反応機構の解明およびその応用 ・生体触媒の分析分野への応用 ・蛍光タンパク質を用いた細胞骨格動態の解析 ・細胞構築機構の進化過程の解明
教授・博士（学術） 清瀬千佳子 教授・博士（工学） 澤井 淳 教授・博士（栄養学） 花井 美保 教授・医学博士 横山知永子	・食品成分の機能性評価 ・食品および環境における微生物制御 ・特殊環境下における摂取栄養素の影響評価 ・生理活性物質の機能解析	・食品成分の体内動態と代謝機構、生理作用の解明 ・無機系抗菌材料の開発と応用 ・環境中における微生物の分布および存在状態の解析 ・特殊環境下にある生体に対する摂取栄養素の影響の解明 ・生理活性脂質の病態生理学的作用の解明

(5) 機械システム工学専攻

●教育課程表

◎必修、○選択

授業 コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29400	先端熱流体力学特論Ⅰ	○	2		2	佐藤 智明 石綿 良三
29401	先端熱流体力学特論Ⅱ	○		2	2	
29406	先端システムインテグレーション 特論Ⅰ	○	2		2	高橋 良彦 河原崎徳之 門田 和雄 大瀧 保明
29408	先端システムインテグレーション 特論Ⅱ	○		2	2	
29409	先端知能化システム特論Ⅰ	○	2		2	脇田 敏裕 山門 誠 菊池 典恭
29410	先端知能化システム特論Ⅱ	○		2	2	
29411	先端電動化システム特論Ⅰ	○	2		2	クライソン
29412	先端電動化システム特論Ⅱ	○		2	2	
29407	特別研究	◎	4		4	
合 計					20	

注) 特別研究の単位修得条件として、APRIN eラーニング (eAPRIN) (<https://edu.aprin.or.jp>) を受講し修了していること。受講コース等の詳細は専攻に確認すること。

●研究内容

担当教員	学科目	研究内容	研究テーマ
教授・博士（工学）、 博士（人間科学） 佐藤 智明	熱流体 システム	流体の熱物性・流動特性、熱機関工学、感性情報工学および教育機械工学に関する研究	・冷媒・燃料の熱物性測定 ・新しい熱機関システム ・エントロピーと感性量に関する研究 ・教育利用のための機械システム開発とその評価
教授・博士（工学） 山門 誠 教授・博士（工学） 菊池 典恭	知能化 システム	各種インフラや制御システムと連携し自動車運転者支援や交通安全を達成するためのシステムの研究	・人間特性に基づく車両諸元最適化の研究 ・燃費性能と乗り心地を考慮した自動運転基礎研究 ・運転支援の基礎研究 ・コネクテッドカー技術の導入効果の検証 ・LiDAR、カメラ、レーダー等による物体検出技術の研究 ・電波等を利用した測位技術に関する研究
教授・博士（工学） 高橋 良彦 教授・博士（工学） 河原崎徳之 教授・博士（工学） 門田 和雄	システム インテグ レーション	システムの知能化、エコ・エンジニアリングの研究、センサ工学の研究、ロボット等情報機械の研究	・ヒューマンインターフェースの研究 ・人間共存システムの研究 ・現代システム制御理論応用の研究 ・自然エネルギー利用電気自動車
教授・工学博士 クライソン	電動化 システム	持続可能な低炭素モビリティ社会を実現するための要素及びシステム技術の研究	・ワイヤレス給電システムの研究 ・超急速給電システムの研究 ・超小型モータ・インバータシステムの研究 ・自然エネルギー利用電気自動車

(6) 情報工学専攻

●教育課程表

◎必修、○選択

授業 コード	授業科目	必選別	配当学期及び単位数			
			前	後	合計	担当教員
29500	先端情報工学特論Ⅰ	○	2		2	陳幸生 田中博 岡本剛 五百蔵重典 納富一宏 岡崎美蘭 木村誠聡 稲葉達也 清原良三 田中哲雄 岡本学 凌暁萍 塩川茂樹 鳥井秀幸 塩野直志 井家敦 丸山充 岩田一 森稔 川喜田佑介
29501	先端情報工学特論Ⅱ	○		2	2	
29502	先端情報メディア特論Ⅰ	○	2		2	谷中一寿 春日秀雄 服部元史 臼杵潤 松本一教 宮崎剛 井上哲理 佐藤尚 大塚真吾 辻裕之 鷹野孝典 西口磯春 須藤康裕 谷代一哉 鈴木浩 西村広光 酒井雅裕 福本隆司 上田麻理
29503	先端情報メディア特論Ⅱ	○		2	2	
29504	先端生活支援システム特論Ⅰ	○	2		2	松田康広 吉野和芳 渡邊紳一 高橋勝美 鈴木聡 高尾秀伸 河口進 三枝一 亮
29506	先端生活支援システム特論Ⅱ	○		2	2	
29505	特別研究	◎	4		4	
合 計					16	

注) 特別研究の単位修得条件として、APRIN eラーニング (eAPRIN) (<https://edu.aprin.or.jp>) を受講し修了していること。受講コース等の詳細は専攻に確認すること。

●研究内容

担当教員	学科目	研究内容	研究テーマ
教授・博士（工学） 陳 幸生 教授・博士（工学） 木村 誠聡 教授・博士（工学） 納富 一宏 教授・博士（情報科学） 田中 哲雄 教授・博士（情報科学） 五百蔵重典 准教授・博士（工学） 凌 曉萍	計算機システム	並列／分散システムに関する基本技術と応用技術、マルチメディアデータベース、グループウェアに関する研究、形式的仕様とプログラミング方法論に関する研究、および計算機システムの構築に関する研究	・並列／分散アルゴリズムの研究 ・マルチメディアデータベースの研究 ・グループウェアの研究 ・情報システム連携技術の研究 ・ソフトウェア開発技術の研究 ・ストリーム指向データ処理機構 ・人工生命に関する研究 ・インタラクティブシステム設計に関する研究
教授・博士（工学） 辻 裕之 教授・博士（工学） 宮崎 剛 教授・博士（体育科学） 谷代 一哉 教授・博士（工学） 西村 広光 教授・博士（工学） 森 稔 准教授・博士（工学） 上田 麻理	情報認識工学	イメージメディア・ロボットのための画像認識理解の研究、画像処理の研究、制御のための認識の研究、生産システムを例題とした知能工学の応用研究、障害者のための画像処理システムの研究、運動選手の支援に関する基礎研究、赤外線・紫外線を利用した画像認識の基礎研究、環境理解のための画像・映像認識の研究、印象・感性理解のための認識処理の研究、超音波、音声認識・合成、聴覚、騒音制御・音環境に関する研究	・動作認識による目的情報取得 ・認識に基づくイメージ表現生成 ・最適化アルゴリズムの研究 ・マルチエージェントシステム ・生産システムのための情報モデリング ・数値モデルに基づく画像処理アルゴリズムの研究 ・画像に基づく情報伝達システム ・画像を用いたトレーニング教材生成 ・センシング技術を用いた運動動作と生体情報に関する研究 ・赤外線や紫外線を利用した画像認証技術の研究 ・機械学習に基づく認識理論・システム ・環境変動に適応的な認識技術 ・超音波計測・解析、音・音声コミュニケーションに関する研究
教授・博士（工学） 田中 博 教授・博士（工学） 岡崎 美蘭 教授・博士（情報科学） 清原 良三 教授・博士（工学） 丸山 充 教授・博士（工学） 塩川 茂樹 教授・博士（工学） 鳥井 秀幸 教授・博士 （国際情報通信学） 岡本 学 教授・博士（工学） 岡本 剛	情報通信工学	高速の情報通信を可能とする新LAN方式、ネットワークサービス方式、情報技術と通信技術を融合した分散情報処理の研究、マルチメディア符号化方式の研究、新しいデジタル設計論の研究、論理関数からなる代数の研究、ニューラルネットワークの研究、高度の映像情報通信方式の研究、高速大容量のセルラー無線システムの研究、次世代認証技術の研究	・ネットワークサービスアーキテクチャ ・デジタルフィルタの設計 ・符号理論 ・臨場感通信に関する研究 ・サイバースペースに関する研究 ・ユビキタスネットワークに関する研究 ・ネットワークセキュリティに関する研究 ・モバイルコンピューティングに関する研究 ・新世代ネットワーク処理技術に関する研究 ・次世代CDMAシステムのための拡散系列に関する研究 ・安全安心な本人確認技術

教授・博士（理学） 松本 一教 教授・博士 （政策・メディア） 稲葉 達也 教授・博士（工学） 白杵 潤 教授・博士 （政策・メディア） 鷹野 孝典 教授・博士（工学） 大塚 真吾 教授・博士（経営学） 塩野 直志	情報 システム 工学	システムのライフサイクルと資源配分に関する最適化技術の研究、情報システムの広域化に伴う性能評価、信頼性、セキュリティに関する研究、ポリエージェントシステム観に基づく経営シミュレータの研究、情報技術の導入デザインに関する研究、生産・物流システムの効率化、演奏評価への情報技術の導入、知的活動を支援する情報検索・推薦技術の研究	・組合せ数学に基づく最適化手法 ・情報システムの性能・信頼性評価技術 ・情報システムの費用・効果解析 ・情報システムのセキュリティの研究 ・情報システムの分散・並列化技術 ・オブジェクト指向設計法 ・離散インベントシミュレーションによる業務プロセス最適化 ・非接触型情報入力システム ・情報システムの自律化 ・楽器演奏の定量評価 ・データベース、Web、情報検索技術を活用した教育システムや知識情報共有システムの実現
教授・博士（工学） 谷中 一寿 教授・博士（工学） 井上 哲理	メディア 技術	マルチメディアデータベース、グループウェア、ヒューマンメディアに関する研究	・マルチメディアデータベースの研究 ・グループウェアの研究 ・インターネットに適したマルチメディア情報の表現法 ・サイバースペースに関する研究
教授・博士（理学） 佐藤 尚 教授・博士（工学） 服部 元史 教授・博士（工学） 西口 磯春	メディア コンテンツ	コンピュータグラフィックスの研究、音声認識と音響の研究、生体生理計測によるヒューマンインターフェースの研究、人工知能を応用したCGゲームの開発の研究、マルチメディアを活用した教育手法の研究、運動や音響のシミュレーション技術に関する研究	・ノンフォトリアリスティックレンダリング ・CGによる自然物、自然現象の表現 ・人工知能を応用したCGゲームの開発 ・マルチメディアを活用した教材の開発と評価 ・楽器の音響に関する研究 ・音響シミュレーション技術に関する研究
教授・博士（環境学） 松田 康広 教授・博士（学術） 高橋 勝美 教授・博士（工学） 吉野 和芳 教授・博士（学術） 渡邊 紳一 教授・博士（医学） 鈴木 聡 教授・博士（人間科学） 高尾 秀伸 教授・博士（工学） 河口 進一	生活支援 工学	コミュニケーション支援システムの開発、健康支援機器の開発、日常生活支援ロボットに関する研究、生体情報処理を主体とした基礎研究、医療タスクにおける認知処理と医療安全を目的とした臨床作業に関する研究、人間の認知機能拡張に関する研究	・指点字のコミュニケーション支援システムの開発 ・把握物体の感性設計に関する研究 ・日常生活支援ロボットに関する研究 ・形態・体組成計測や生理計測に関する研究 ・臨床を主体とした人間工学に関する研究 ・視覚障害者生活支援のための複合現実インタフェースの研究